

経営健全化方針に基づく取組状況（令和5年度）

○法人名

秋田栗駒リゾート株式会社

○経営健全化方針を策定した理由

- ・平成29年度決算において、債務超過額が22,434千円となり単年度赤字となったため、策定したものの。

○財政的リスクの状況

	平成29年度決算	令和5年度決算	目標達成年度 (令和5年度)
債務超過額（千円）	22,434	77,224	0

○主な取組状況（令和6年6月現在）

【法人自らによる経営健全化のための具体的な対応】

- ・前年に引き続き、人員不足の状況下で効率的な運営と売上を確保するため、夏期は客単価の高い栗駒山荘へ人員を集約させ、ホテルブランは縮小営業体制とする。
- ・国・県・村・観光産業企業等の制度やキャンペーン等を活用して集客を増やす。
(例：東成瀬村が推進している「東成瀬村応援団」の制度を活用)
- ・各施設の光熱費（照明・空調）を抑えるため、省エネ（節電・温度設定）体制を強化する。
- ・慢性的な人員不足の問題は、地域づくり協同組合や人材派遣会社を活用し、人材確保に努める。

【地方公共団体による財政的リスクへの対処のための対応】

- ・各施設の経営改善に向けた方策を法人と随時協議している。
- ・観光客誘客のため、村独自の宿泊助成事業や村応援団制度による各施設の利用料金割引などの側面的支援を実施し、売上高の増加につながった。
- ・クーポンを発行し利用促進につながる支援を行った。
- ・利用客の確保を図るため、経年劣化等著しい施設の大規模改修を実施している。

○法人の財務状況

（貸借対照表から）

（単位：千円）

	平成29年度決算	令和5年度決算
資産総額	58,931	53,400
（うち現預金）	39,713	42,709
（うち売上債権）	10,172	4,704
（うち棚卸資産）	5,134	4,174
負債総額	81,365	130,623
（うち当該地方公共団体からの借入金）	0	0
純資産総額	△ 22,434	△ 77,224

（損益計算書から）

	平成29年度決算	令和5年度決算
経常収益	356,770	311,636
経常費用	358,156	320,154
経常利益(損益)	△ 1,386	8,518
経常外利益(損益)	0	0
当期純利益(損益)	△ 1,590	9,433